

994. 9. 24 (日)

「慰安婦」強制連行
ILO第29
講師 N. BHAGVATI



研究会で発言するバグワティ氏

「強制労働」と
政府対応迫る
東京で慰安婦研究会
「慰安婦・強制連行と」

LO第二九号条約（国際法と強制労働）と題された研究会が二十三日、東京都千代田区の総評会館で開かれた。元インド最高裁長官で国際労働機関（ILO）専門委員のN・バグワティ氏が「（旧日本軍が関与した）従軍慰安婦問題は、ILO関連条約が禁止する強制労働に当たる」と明言し、日本側の対応を迫った。

国際人権研究会（会長・本岡昭次参院議員）の主催。講師のバグワティ氏は従軍慰安婦問題を「日本が制度的、集団的に行った人権侵害」と指摘。ILOの組織を説明し、「従軍慰安婦たちは軍部からの報復を恐れ、強制的なサービスさせられており、強制労働に当たる。日韓の労組は規約によって、訴えることができる」と述べた。